

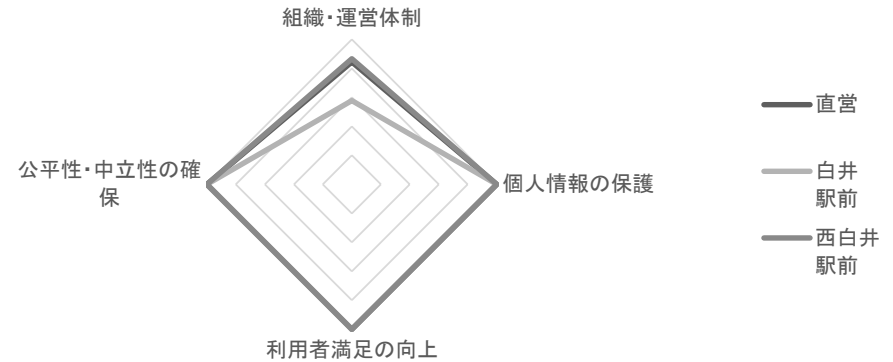
自己点検結果集計 レーダーチャート・市の評価【平成30年度】

1. 基本項目

評価項目	点数			満点
	直営	白井駅前	西白井駅前	
組織・運営体制	38	26	39	45
個人情報の保護	35	35	35	35
利用者満足の上	35	35	35	35
公平性・中立性の確保	25	25	25	25

※ 常勤専門職の平均勤続月数は、直営が突出するため含めていない。

基本項目 ※満点に対する割合で表示



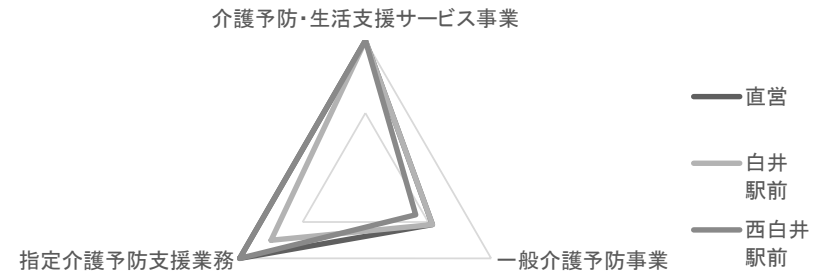
【基本項目に関する市の評価】

- 個人情報の保護、利用者満足の上、公平性や中立性の確保については、いずれの地域包括支援センターも、点検項目を満たすことが出来た。
- 組織・運営体制について、白井駅前・西白井駅前は、職場内研修が年1回程度であった。白井駅前について、年度内に退職に伴う専門職交代があったほか、職場内のミーティングの実施、介護予防ケアマネジメントの担当件数の一部時期超過など、組織・運営体制に課題があった。当面、職員間の情報共有や連携を密にするとともに、基幹型として、相談支援や地域との連携が滞りなくなされるよう、後方支援を強化する必要がある。

2. 総合事業 ・ 5 指定介護予防支援業務

評価項目	点数			満点
	直営	白井駅前	西白井駅前	
介護予防・生活支援サービス事業	10	10	10	10
一般介護予防事業	8	8	6	15
指定介護予防支援業務	20	15	20	20

総合事業 ・ 指定介護予防支援業務



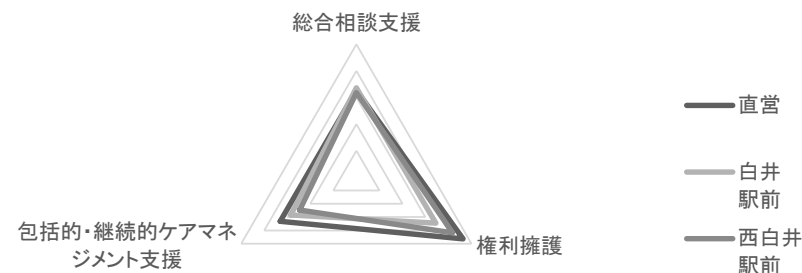
【総合事業・指定介護予防支援業務に関する市の評価】

- 介護予防・生活支援サービス事業や指定介護予防支援業務については、概ね目標を達成した。
- 一般介護予防事業について、白井駅前は介護予防講座の実施・西白井駅前は地域のサロンへの積極的参加が不足していたほか、直営・西白井駅前は、地域に新たなサロンが出来るような支援が出来ていないという結果となった。地域のサロンへの参加は、地域包括支援センターの存在を周知するうえで重要であり、今後意識的に参加していく心がけていく必要がある。

3. 包括的支援事業(地域包括支援センターの運営)

評価項目	点数			満点
	直営	白井駅前	西白井駅前	
総合相談支援	36	37	35	55
権利擁護	51	38	46	55
包括的・継続的ケアマネジメント支援	43	37	32	65

包括的支援事業(地域包括支援センターの運営)



【包括的支援事業(地域包括支援センターの運営)に関する市の評価】

- いずれの地域包括支援センターも、高齢者虐待以外の困難事例について、継続支援シートの作成、モニタリングなどの対応が不足していた。特に直営は、社会保障充実分の業務が過大となっていることに加えて、困難事例の対応に追われ、支援方針を立てるなど、丁寧な関わりができていなかったと判断される。
- 白井駅前について、実態調査実施件数が少なかった。職員体制の不安定さが影響していたと思われる。
- 権利擁護業務について、白井駅前は、成年後見制度や高齢者虐待に関する専門機関との連携がやや不足する傾向にあった。西白井駅前については、専門機関との連携もあり、相談事例が多いなか、細やかに相談支援対応が出来ていたと評価できる。
- 包括的・継続的ケアマネジメントは、全般に達成状況が低かった。白井駅前は、外部講師を招き「けあまねカフェ」と題するケアマネジャーの勉強会を実施したことが評価される。

4. 包括的支援事業(社会保障充実分)

評価項目	点数			満点
	直営	白井駅前	西白井駅前	
在宅医療・介護連携推進事業	34	18	18	45
生活支援体制整備事業	10	6	5	10
認知症総合支援事業	18	9	18	20
地域ケア会議推進事業	10	9	6	20

包括的支援事業(社会保障充実分)



【包括的支援事業(社会保障充実分)に関する市の評価】

- 本事業については、直営が主たる事業実施主体であり、白井駅前・西白井駅前は協力する立場にあるため、直営の点数が高くなる傾向にある。
- 地域ケア会議について、各地域包括支援センターが年間2回実施を目標としている「ご近所支え合い会議」を目標どおり実施することが出来なかった(実施は白井駅前の1回のみ)。
- 認知症総合支援や生活支援体制整備について、白井駅前の協力状況がやや低かった。本事業の推進について、直営が中心となりながら、3か所の地域包括支援センターで協力連携して実施できるようにしていきたい。